

DTX + Ram療法（3週毎）

医薬品名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
デキサメタゾン注	6.6mg	30分	↓																				
<i>d</i> -クロルフェニラミン注*1	10mg																						
ラムシルマブ注	10mg/kg	1時間*1	↓																				
ドセタキセル注	60mg/m ²	2時間	↓																				
デキサメタゾン錠	8mg/day	1日1回 朝食後		↓	↓																		

*1：前立腺肥大や緑内障の患者さんには、*d*-クロルフェニラミン注の代わりにエピナスチンやピラスチンを使用。

*2：速度は別途指示あり

■副作用への対応

- 高血圧 ----- 血圧が上昇する可能性があるため家庭血圧を記録する。（ラムシルマブ）
- タンパク尿 ----- 定期的に尿検査を行う。（ベバシズマブ）
- 鼻血 ----- 強く鼻をかんだり触ったりしない。鼻血はほとんどの場合は軽度で、安静にしていれば止まる。（ベバシズマブ）
- 悪心嘔吐、食欲不振 ----- 食事を摂りづらい時は、食べられるもの、好きなものを少しずつでも食べる。水分を摂るようにする。
- 味覚変化 ----- 味覚変化のために食事を摂りづらい時は、味付けなどを工夫しながら食べる。
- 口内炎 ----- 予防のために食後の歯磨き、頻回（8回/日以上）のうがいをする。
- 好中球減少 ----- 感染症予防のために、外出後だけでなく自宅で過ごす時も手洗い・うがいを頻回（8回/日以上）に行う。
- 関節痛・筋肉痛 ----- 点滴後、関節痛や筋肉痛を感じることもある。痛みが強い場合は鎮痛剤を使うことがある。
- 爪の変形 ----- 繰り返し点滴することにより爪の変形や変色が起こることがある。清潔に保ち、強い力をかけないようにする。
- 脱毛 ----- 点滴後、早ければ2週間程度で髪の毛が抜け始める。帽子やウィッグを利用する。

■その他

発熱性好中球減少症の発症抑制のためにpegフィルグラスチムを使用することもある。

化学療法終了後24時間以降、1コースあたり1回3.6mg皮下注。